

タンゴとサッカーの国・アルゼンチン



ワールドカップ真っ盛りの6月27日(金)、安室東公民館で国際理解出前講座「タンゴとサッカーの国・アルゼンチン」を開催しました。講師は、ご両親の移住により、1歳から結婚されるまでの間アルゼンチン・ブエノスアイレス近郊で過ごされた大谷アリシアさんです。

アリシアさんは、アルゼンチンのナショナルチームのユニフォームで登場されました。アルゼンチンにいる時は、日本チームを応援するけれど、日本にいとアルゼンチンを応援したくなるそうです。故郷の町出身で、日本で活躍した選手の話など、サッカーの話題が盛りだくさんでした。

気候や、街並みの様子、観光地なども写真を見ながら説明があり、参加者の皆さんは質問をしながら大変興味深く聞いておられました。

アルゼンチンでは、とにかく肉をよく食べるという話に質問がたくさん出ました。日本のような霜降り肉は食べないこと、時間をかけてゆっくり焼くことでおいしくなること、一人500グラムくらい食べるという話に、皆さん驚いておられました。

日本からの移動に時間がかかりますが、参加者の中にはアルゼンチンに旅行したことがある人もおられ、講座後も話がはずんだようでした。



故郷の町の教会。ヨーロッパ風です。

とにかくお肉をたくさん食べるそう。1人分は500グラムという話に参加者もびっくり!

